

今後の都の取組の方向性について

1 ICT を活用した情報共有・多職種連携について

【現状】

- システム導入状況：50 地区医師会
- システム導入割合：カナミック 15 地区、MCS26 地区、他システム 9 地区、
未実施 8 地区 ※重複あり
- 利用患者数：1 人～880 人（平成 28 年度実績）
平成 29 年 6 月現在（患者数を除く）

【課題】

- 複数のシステムに参画するユーザーは患者ごとにシステムを使い分ける必要があり煩雑。またシステムごとにルールや共有する情報が異なることも課題。

○今後の取組について

- 東京都医師会の取組「都医ポータル」
- 標準（共通）項目のモデル例の作成・周知
（効果）
 - ・ 複数システムに参画するユーザーの利便性の向上
 - ・ 病院との連携での活用

2 「入退院支援～在宅療養」のフロー図について

「入退院支援～在宅療養」のフロー図を作成

- ・ 入退院時連携強化研修（入退院時連携強化事業）のテキスト、カリキュラムの検討での活用
- ・ 多職種連携連絡会において、多職種連携のモデル例の作成での活用

3 在宅療養に関する普及啓発媒体について

- ・ 在宅療養に関する都民の理解促進を図るため、普及啓発用DVDを作成
- ・ DVDを活用し、区市町村、関係団体と連携したきめ細やかな普及啓発を実施